

粹な姐さん、
アコラ好き

Museport Vocal School Presents

Acoustic Style 2017

2017.7.30 sun
at Chat-Noir

ミューズポート夏のライブ 参加者募集中！

ミュージアポートボーカル教室 夏のライブ

Acoustic Style 2017 参加者募集！

グランドピアノとアコースティックギターによるアコースティカルなライブ。

豪華ミュージシャンによるサポートもあります。

ミュージアポートでは通算 39 回目の定期ライブ「Acoustic Style 2017」の参加者を募集します。春と冬のバンドライブとは違って、夏はアコースティカルなライブイベントです。ミュージシャンによるグランドピアノもしくはアコースティック・ギターによるサポート、あるいは、ご自分で弾き語りでも歌うことができます。今回はバンドライブと違ってグランドピアノを導入（10 年ぶり！）。ぜひぜひご参加くださいませ！

【日時】2017 年 7 月 30 日（日）10：50～リハーサル開始予定時間。（本番は 15:15 開始予定）

【会場】日ノ出町シャノアール（横浜市中区日ノ出町 1 丁目 7 6 - 1 Tel. 045-242-9784）

【一般参加費（ミュージシャンの演奏をバックに歌われる場合）】1 曲 ¥8,000（税込）

- 1 プロのミュージシャンによるピアノもしくはギターの演奏をバックに歌えます。どちらの楽器で歌いたいかを申し込み時にお申し出下さい。なお、当日のリハーサルで楽曲を合わせます。
- 2 二楽器でのサポートを希望される場合、サポート追加料金 ¥3,500（税込）が必要です。
※2 楽器のサポートで歌われる場合。¥8,000 + ¥3,500 = ¥11,500
- 3 参加者にはライブハウスのドリンクチケットが 1 枚つきます（2 名で 1 曲参加の場合は 1 枚となります）

【弾き語り参加費（ご自分で弾き語りで歌われる場合）】1 曲 ¥4,000（税込）

ご自分で弾き語りされる場合の 1 曲の参加費。参加者にはライブハウスのドリンクチケットが 1 枚つきます（2 名で 1 曲参加の場合は 1 枚）

【サポート・ミュージシャン】



吉野ユウヤ（グランドピアノ）：2015 年に「Red Cloud」「SHIN-KA」「DeepDive」をリリースしたばかりの新世代ピアニスト。作曲家 & アレンジャーとして TV アニメ「夢色パティシエール」「毎日かあさん」主題歌、DHC や日比谷シャンテの CM ソング、島津亜矢舞台公演劇伴音楽の作曲なども手掛けている。演奏家としてはダンサー菅原小春のステージサポートのほか全国各地でソロコンサートを行っている。



平野雅己（アコースティック・ギター）：ジャズ、ソウル、ファンクからロックまで多彩なジャンルをこなすギタリスト。リーダーバンドの平野雅己 Quartet、インドの打楽器タブラを盛込んだジャンルレスなサウンド「Sarasvathia Jam Quintet (サラスヴァティア・ジャム・クインテット)」のほか、様々なボーカリストのサポートを行っている。

【応募締切】7 月 1 日（土）ただし先着 42 曲程度で締切とさせていただきます。

【応募に必要なもの】伴奏つきで参加される方は以下のものをご用意下さい。弾き語りの方は参加費のみでエントリー可能です。

- ① 参加費
- ② 歌いたい曲の音源
- ③ 楽譜 3 部（歌詞とメロディ・ラインが記載されており、コード進行だけではなく、イントロからアウトロまで小節が記載されていることが必要です。「ピアノ弾き語り譜」「ギター弾き語り譜」「バンドスコア」など。※「コード譜」は使えません。楽譜のご準備に関しては、ぜひスタッフにご相談下さい）

【楽曲の時間など】1 曲 6 分以内、1 人最大 2 曲までとさせていただきます。

【その他】

- ① 採譜：「楽譜が見つからない」「歌詞とコードだけの楽譜しかない」など場合、有料となりますが、ミュージシャンに採譜して頂きます。採譜料 ¥6,480 (税込)
- ② リハーサル：リハーサルでは一曲まるごとの歌唱はできません。
- ③ サポート演奏のご注意点：生演奏ですのでパーフェクトなプレイを保証致しかねます。また楽器の構成上、原音に忠実な演奏は不可能とお考えください。特にアコースティックなユニットでは、打ち込み系の音の再現は難しいです。
- ④ 歌が終わった後、アウトロの小節数が長い場合など、ミュージシャンの判断で短く省略されるのが普通です。ご要望（アウトロを完全に演奏してほしい、○小節分はやってほしい）がある場合は必ずお申し付け下さい。
- ⑤ キーチェンジは可能ですが、アコースティックなライブの場合、かなり音のニュアンスが変わってしまいます。できれば原曲 Key での演奏をおすすめします。